

エネルギーモニタユーティリティ 取扱説明書

Windows 8、Windows 8.1 共通

目次

1. はじめにお読みください	1
2. USBドライバのインストール	2
3. USBドライバのアンインストール	11
4. エネルギーモニタユーティリティの操作方法	13
(1) 画像データの転送	13
(2) 画像データの確認	14
(3) 画像データの削除	14
(4) 計測データの転送	14
5. トラブルシューティング	15

cic 長州産業株式会社

1. はじめにお読みください

本ソフトウェアは長州産業株式会社太陽光発電システムのカラー表示ユニットのフォトフレーム機能、および履歴データ転送機能を利用するためのものです。

本ソフトウェアに関するお問い合わせはメールフォームにてお願いいたします。

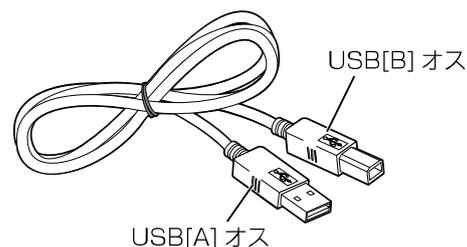
電話や FAX では対応いたしておりません。

本ソフトウェアには以下のものが含まれます。

- ・ カラー表示ユニットとパソコンを USB ケーブルで接続・転送するためのドライバー
- ・ フォトフレームに表示する画像データを編集・転送するためのアプリケーション
- ・ 履歴データを転送するためのアプリケーション
- ・ 取扱説明書

■ USB ドライバーのインストール

フォトフレーム機能や、計測データ転送機能を初めて使用する時は、USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ケーブル (A-B タイプ) をご用意ください。



〈動作環境〉

本ソフトウェアは Microsoft Windows2000、XP、Vista (32bit、64bit)、7(32bit、64bit)、8(64bit)上で動作確認を行っております。他の OS では正常に作動しない場合があります。

パソコンの画面の文字サイズは小(100%)(既定)でご使用ください。これら以外の場合では正常に作動しない場合があります。

〈ご利用条件〉

- ・ ソフトウェアのダウンロードおよびインストール作業はお客様の責任において行っていただきます。
- ・ パソコンと接続してカラー表示ユニットの機能を利用するためにのみ使用してください。
- ・ 本ソフトウェアの著作権は長州産業株式会社に帰属します。
- ・ 本ソフトウェアを解析・変更または改造を行わないでください。
- ・ 日本国内でのみ使用してください。
- ・ バージョンアップなどにより予告なく仕様を変更することがあります。
- ・ 本ソフトウェアにより生じたいかなる損害についても、長州産業株式会社はその責任を負いません。

〈CD-ROM 送付〉

弊社ホームページからダウンロード出来ない場合は、CD-ROM を無料で送付いたしますので、弊社フリーダイヤルへご連絡ください。

■ お客様相談窓口 全国どこからでもおかけいただけます。



0120-652-338

受付時間：平日 9：00～17：00

※土曜・日曜・祝祭日・社内休日・年末年始(12月30日～1月4日)を除く

- ・ お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ・ ご相談、ご依頼いただいた内容によってはメンテナンス、サービスのために個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

2. USBドライバーのインストール

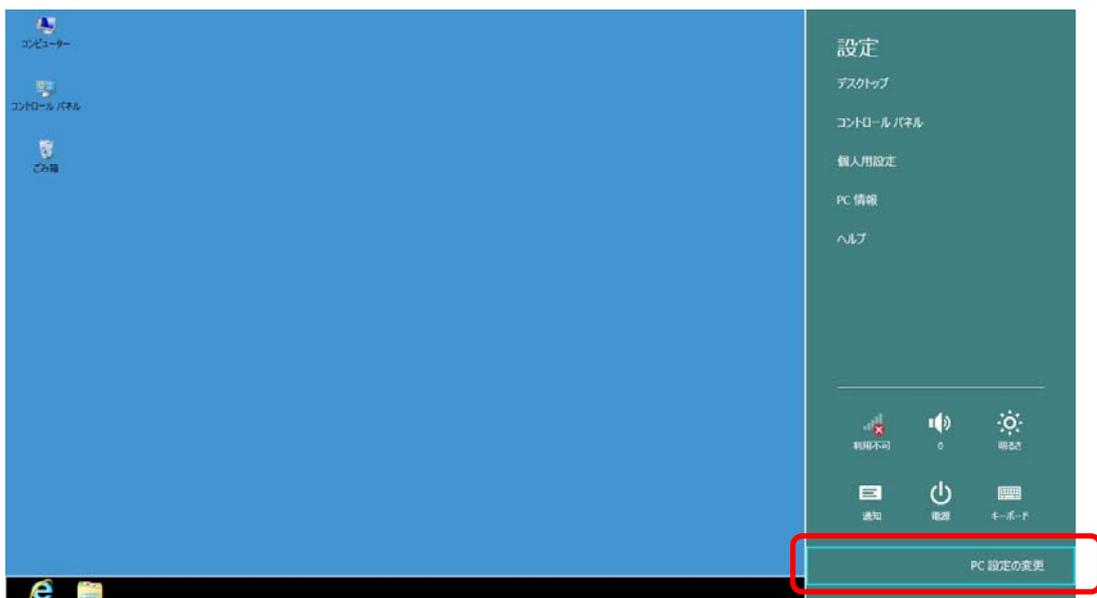
(1) ホームページよりダウンロードした圧縮ファイル(EnergyMonitorUtilityV2.1.zip)を解凍してください。

(2) 次の手順に従ってUSBドライバーをインストールします。

- ① デスクトップ画面上で  (Windows キー) +  (I(アイ) キー) を同時に押します。



- ② 画面右側に設定チャーム画面が表示された後、「PC設定の変更」をクリックします。
(以下、「クリック」についてはタップまたは画面タッチでも構いません。)



③ PC設定画面

【Windows 8の場合】

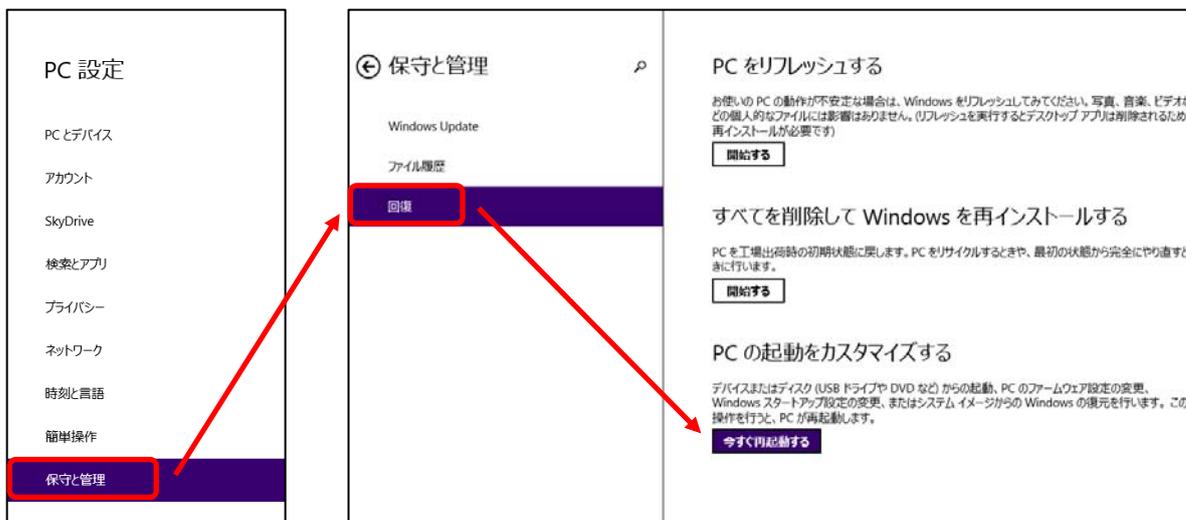
PC設定の画面上で「全般」をクリックします。画面右下にある「今すぐ再起動する」をクリックします。



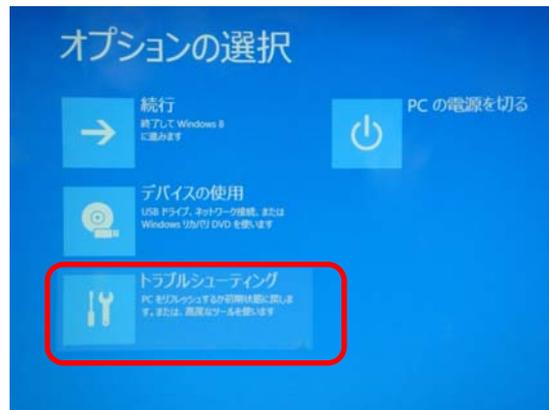
【Windows 8.1の場合】

PC設定の画面上で「保守と管理」をクリックします。

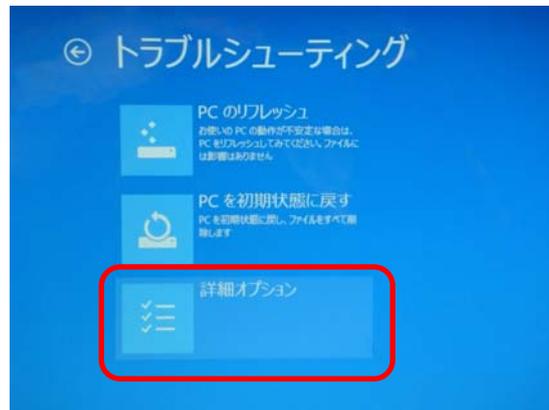
保守と管理の画面上で「回復」をクリックします。画面右下にある「今すぐ再起動する」をクリックします。



- ④ オプションの選択画面上で「トラブルシューティング」をクリックします。



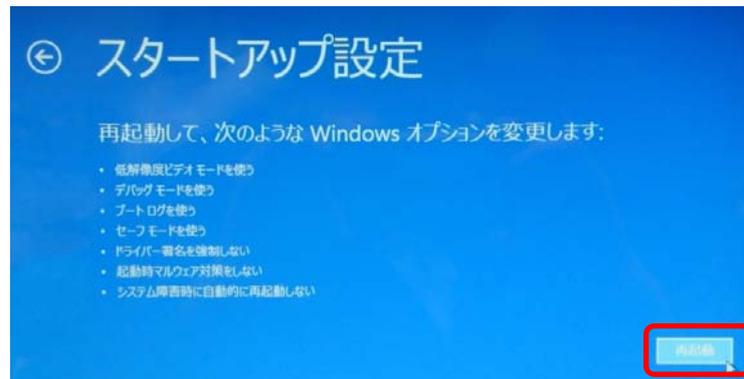
- ⑤ トラブルシューティング画面上で「詳細オプション」をクリックします。



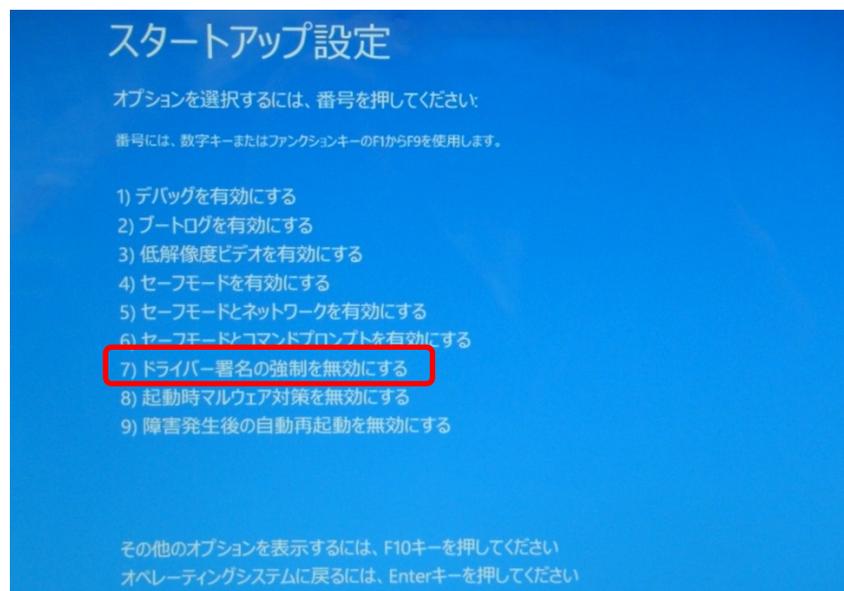
- ⑥ 詳細オプションの選択画面上で「スタートアップ設定」をクリックします。



- ⑦ スタートアップ設定画面上で「再起動」をクリックします。

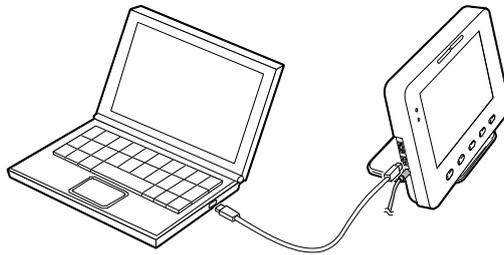


- ⑧ スタートアップ設定画面上で「7」キーまたは「F 7」キーを押してください。



ここで行った「ドライバー署名の強制を無効にする」の設定は、パソコンを再起動すると自動で元の設定（有効）に戻ります。

- ⑨ 表示ユニットとパソコンの電源が入っている状態で、表示ユニットとパソコンを USB ケーブル (A-B タイプ) で接続します。



- ⑩ デスクトップ画面上で  (Windows キー) +  (I(アイ) キー) を同時に押します。



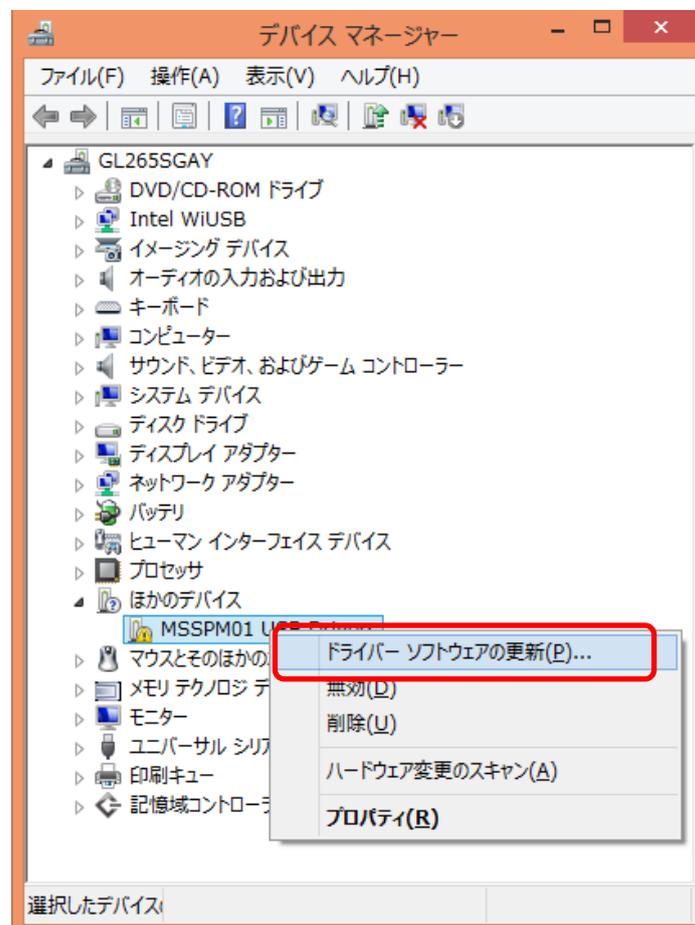
- ⑪ 画面右側に設定チャーム画面が表示された後、「コントロールパネル」をクリックします。



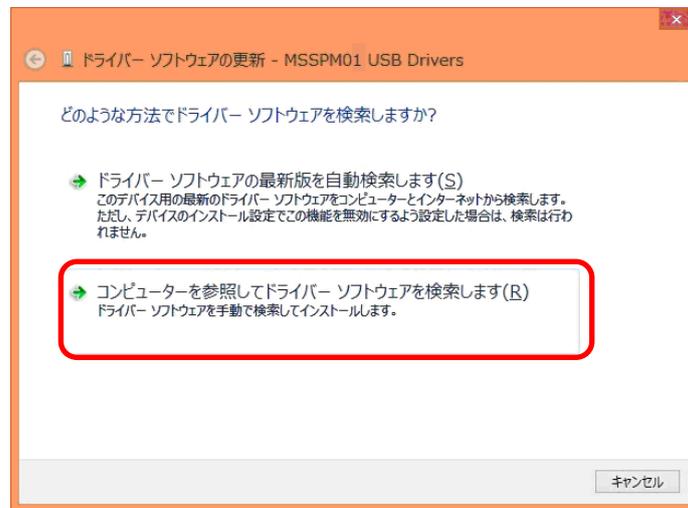
- ⑫ 表示方法で「大きいアイコン」を選択し、「デバイスマネージャー」をクリックします。



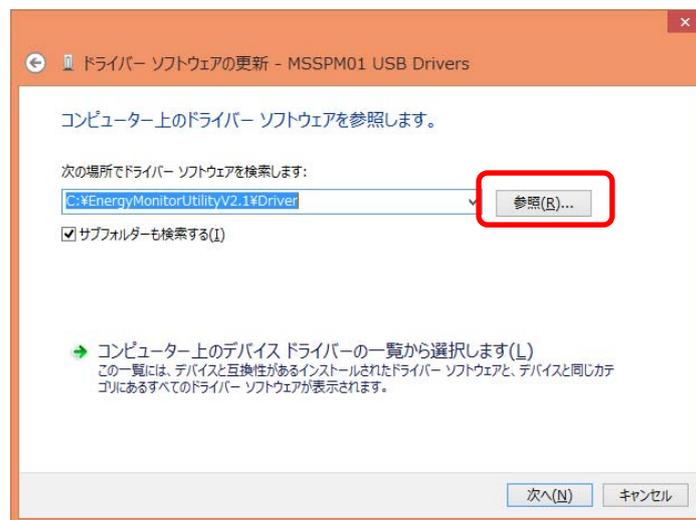
- ⑬ デバイスマネージャー画面が表示されたら、「ほかのデバイス」をクリックし、「MSSPM01 USB Drivers」を右クリックし「ドライバーソフトウェアの更新(P)」をクリックします。



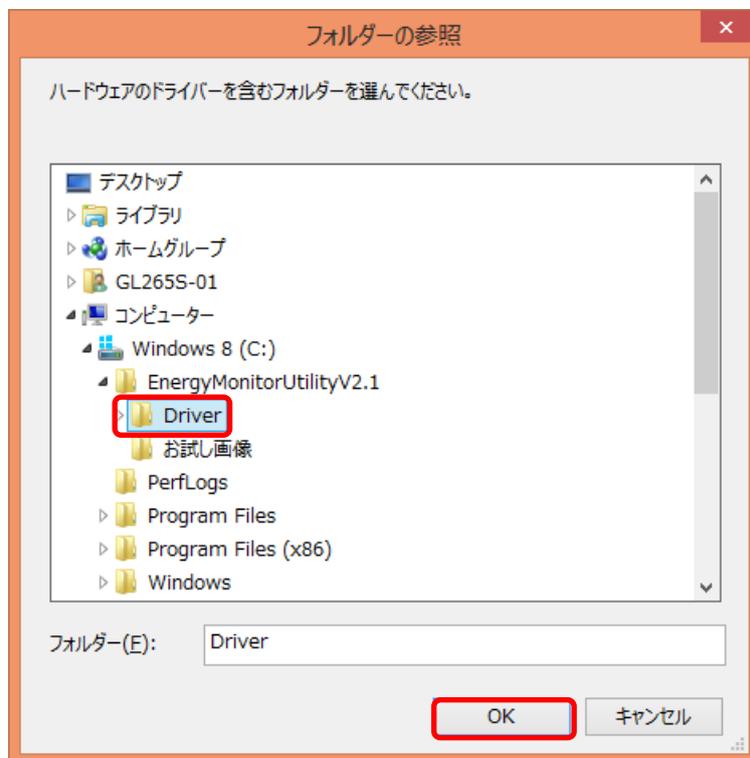
- ⑭ ドライバーソフトウェアの更新画面が表示されたら、「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)」をクリックします。



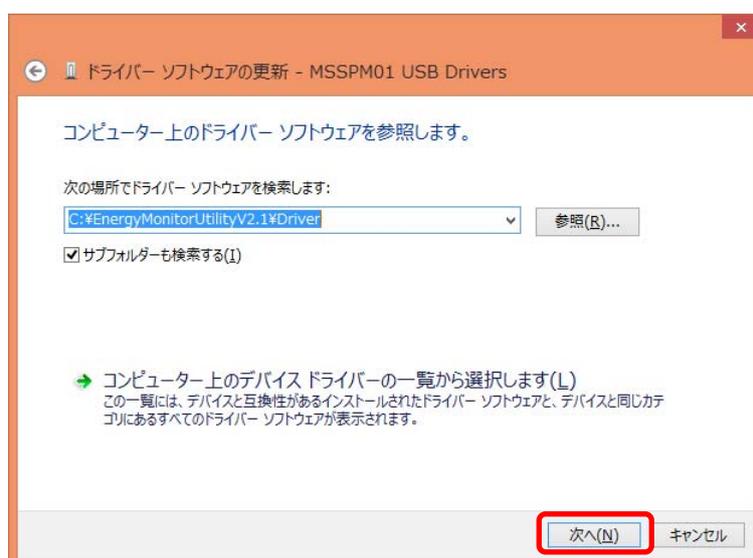
- ⑮ ドライバーソフトウェアの参照画面が表示されたら、「参照(R)」をクリックします。



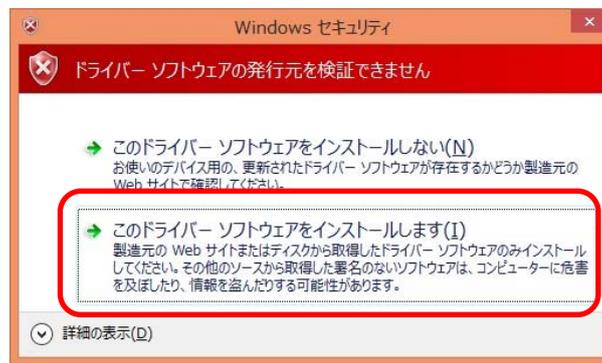
- ⑩ フォルダの参照画面が表示されたら、手順 1 (2 ページ) で作成したフォルダ内にある「Driver」フォルダを選択し、「OK」をクリックします。



- ⑪ 再度ドライバーソフトウェアの参照画面が表示されたら、「次へ(N)」をクリックします。



- ⑱ Windows セキュリティ画面が表示されたら、「このドライバーソフトウェアをインストールします(I)」をクリックします。



- ⑲ インストール終了画面が表示されたら、「閉じる(C)」をクリックします。

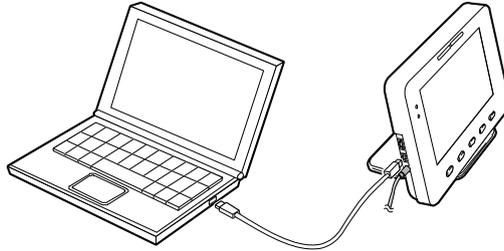


以上で USB ドライバーのインストールは完了です。

3. USBドライバーのアンインストール

USBドライバーのアンインストール手順について説明します。

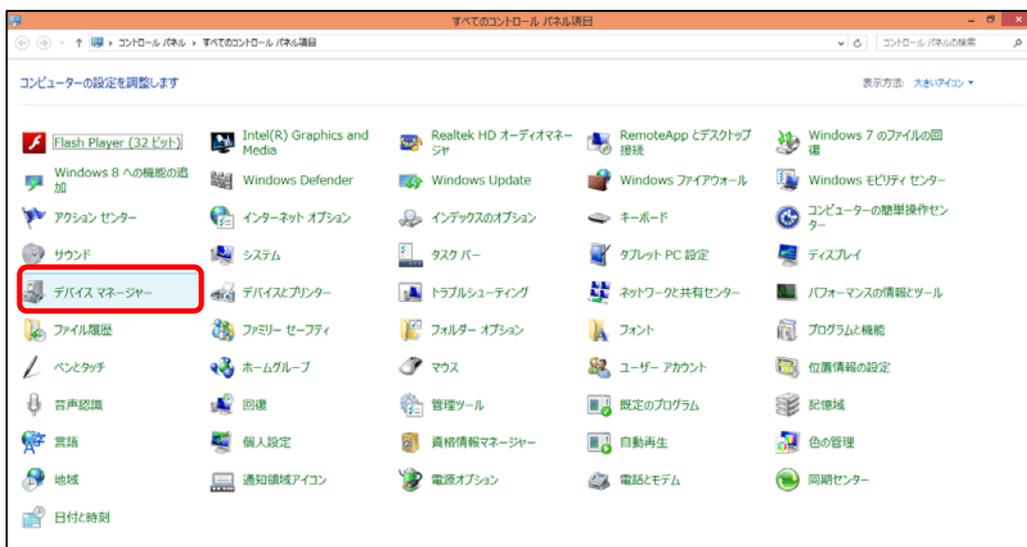
- ① 表示ユニットとパソコンをUSBケーブルで接続してください。



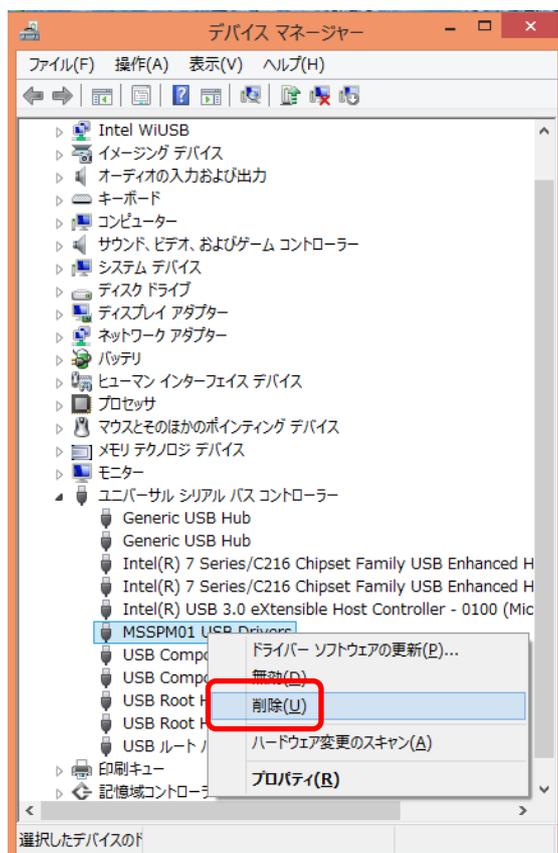
- ② デスクトップ画面上で  (Windows キー) +  (I(アイ) キー) を同時に押します。設定チャーム画面が表示されたら「コントロールパネル」をクリックします。



- ③ コントロールパネル画面の「デバイスマネージャー」をクリックします。



- ④ デバイスマネージャー画面が表示されたら、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の中にある「MSSPM01 USB Drivers」を右クリックし、「削除(U)」をクリックします。



- ⑤ デバイスのアンインストールの確認画面が表示されたら、「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除する」にチェックし、「OK」をクリックします。

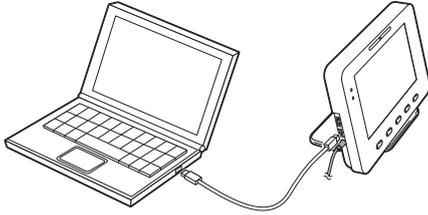


以上で USB ドライバーのアンインストールは完了です。

4. エネルギーモニタユーティリティの操作方法

(1) 画像データの転送

- ① 表示ユニットとパソコンを USB ケーブルで接続してください。



- ② 表示ユニットのメイン画面表示中に [設定] を押し、設定画面に移動した後「フォトフレーム」を選択して [決定] を押してください。

- ③ 手順 1 (2 ページ) のフォルダ内にあるアプリケーションソフト「CICMonUty.exe」を起動してください。

- ④ メニューの [ファイル (F)] → [開く (O)] または [開く] をクリックし、転送する画像を選択すると画像を表示します。
(640×360pixel 未満の画像は開くことができません。)



選択した画像のサイズを変更する
メニューの [サイズ (S)] の項目を選択し、表示している画像のサイズを変更することができます。
(ただし、写真の画像サイズによっては、縮小できないことがあります。)



選択した画像データの一部を転送する
[範囲選択] を押すと赤枠が表示されるので、マウスを使って切り抜きたい部分を選択します。



- ⑤ 保存する番号をクリックしてください。



工場出荷時は 4 枚の画像がサンプルとして保存されています。
新たに画像を追加する場合は上書きをしてください。

- ⑥ [ダウンロード] をクリックしてください。確認メッセージ画面が現れますので [はい (Y)] をクリックすると、画像データの転送を開始します。
この時、タイトルバーに画像データ転送の進捗状況を表示します。



- ⑦ 画像データの転送が完了すると、画像を保存した番号のボタンはオレンジ色になります。

(選択した画像が 640×360pixel 以上の場合は、縮小して保存します。)



- ⑧ メニューの [ファイル (F)] → [終了 (X)] を選択、またはタイトルバー右側の [×] ボタンをクリックすると、ソフトウェアを終了します。
表示ユニットは [戻る] を押してください。

(2) 画像データの確認

- ① 「画像データの転送」の①～③と同じ操作をしてください。
- ② 確認する番号を選択してください。



- ③ 画像が保存してある時は、その画像が表示ユニットに表示されます。
画像が保存できていない時は、表示ユニットに「画像がありません」と表示されます。

(3) 画像データの削除

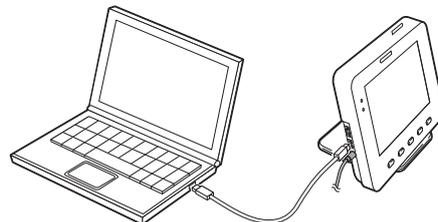
- ① 「画像データの転送」の①～③と同じ操作をしてください。
- ② 削除する番号を選択し、次に「画面削除」をクリックしてください。



- ③ 画面削除が終了すると、表示ユニットに「画像を削除しました」が表示されます。

(4) 計測データの転送

- ① 表示ユニットとパソコンを USB ケーブルで接続してください。



- ② 表示ユニットのメイン画像表示中に [設定] を押し、設定画面に移動した後「計測データ転送」を選択して [決定] を押してください。
- ③ 手順 1 (2 ページ) のフォルダ内にあるアプリケーションソフト「CICMonUty.exe」を起動してください。

- ④ [計測データ取得] をクリックすると、保存画面が表示されます。保存先を入力して [保存 (S)] をクリックすると転送をはじめます。
保存されるデータは日間、月間、年間の 3 つのファイルです。ファイル形式は CSV です。



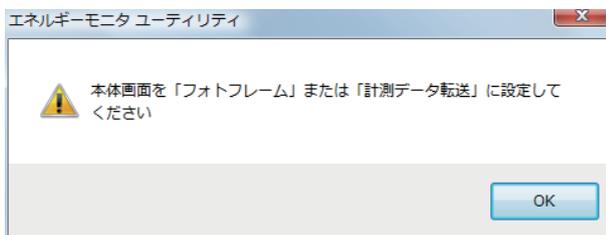
※計測データ転送中は表示ユニットの全てのボタンが無効となります。

- ⑤ データの転送が終了すると「計測データ転送が完了しました」と画面に表示されます。
- ⑥ メニューの [ファイル (F)] - [終了 (X)] を選択、またタイトルバー右側の [X] ボタンをクリックするとソフトウェアを終了します。
表示ユニットは [戻る] を押してください。
- ⑦ パソコンに転送したデータは Excel で開いて見ることができます。

5. トラブルシューティング

下記のウィンドウが表示されましたら、それぞれ次の手順を行ってください。

①



表示ユニット本体画面を「フォトフレーム」または「計測データ転送」設定画面にしてください。

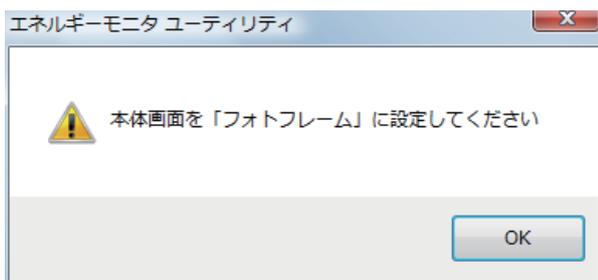
②



表示ユニット本体とパソコンを USB ケーブルにて接続してください。

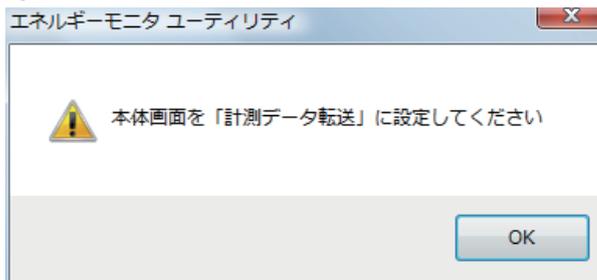
もしくは USB ドライバーをインストールしてください。(2 ページ参照)

③



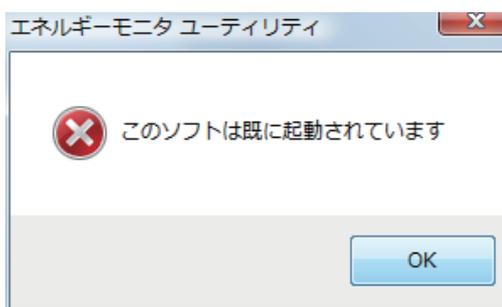
フォトフレーム用の画像を表示ユニットにダウンロードする場合は表示ユニット本体の画面を「フォトフレーム」設定画面にしてください。

④



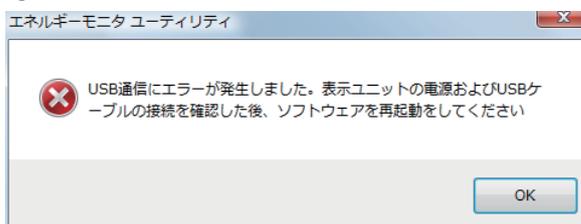
計測データを取得する場合は表示ユニット本体の画面を「計測データ転送」設定画面にしてください。

⑤



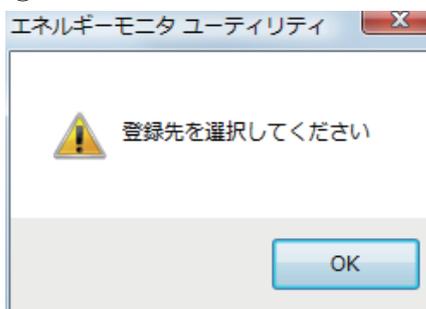
本ソフトウェアが起動しているときに、再度「CICMonUty.exe」を実行した場合に表示されます。

⑥



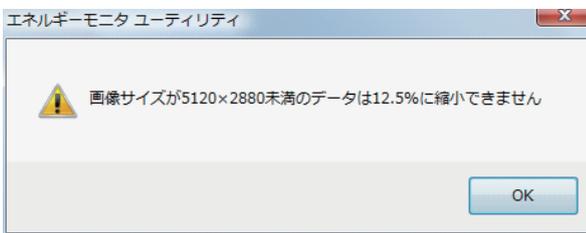
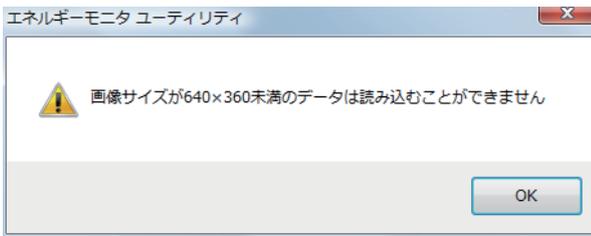
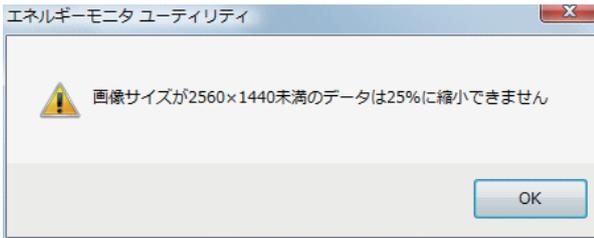
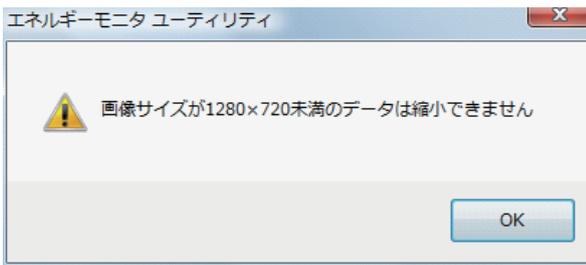
画像ダウンロードまたは計測データ転送中に USB ケーブルを抜いたり表示ユニットの電源を OFF にすると表示されます。

⑦



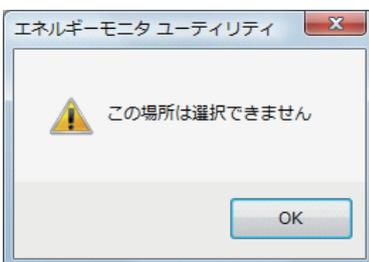
フォトフレーム用画像のダウンロード先エリアを選択して「ダウンロード」ボタンをクリックしてください。P 13⑤「保存する番号をクリックしてください」を参照ください。

⑧



フォトフレーム用の画像サイズをご確認ください。

⑨



「計測データ転送」の保存先フォルダ選択時に、DVD-RW ドライブなど、ファイルが保存できない場所を指定した場合に表示されます。